

2020年6月1日

当院の感染症対策について

健康のために健診を受診される方の感染リスクを少しでも減らし、安心して受診して頂くために以下の対策を行いました。

皆様には、

- ・体調に異常がある場合
- ・接触歴や渡航歴がある場合

は来院をお控えいただき、健診の延期をご検討頂きますようお願い致します。

尚、当院は今年度感染症対策を最優先としておりますので、受診環境等でご不便をおかけする事もあるかと思えます。

ご理解ご協力の程、何卒宜しくお願い致します

①三密対策

- ・受付開始時間を従来より45分早い8時半からとし、時間帯ごとの人数を分散しました。
- ・待合室の座席を指定席制とし、限られた座席数以上の人数が入らないようにしました。
- ・時間のかかる腹部エコーの機械を増設し、スタッフも増員する事で、医療の質を落とさずに健診時間を短縮しました（通常人間ドック滞在時間1時間半以内）。
- ・これらにより、三密を防ぎながらも今まで以上に多くの方が受診して頂ける体制を整えました。

②感染予防対策

従来の厚労省・日本人間ドック学会・日本総合健診学会の指針を遵守した対策に加え、以下の多くの対策を取り入れ、徹底する事で感染リスクを減らします。

- ・受診前に問診票、体温測定などにて感染可能性のある方をチェック（該当する方は当日の受診をお断りし、日程変更をお願いする事がございます。）
- ・スタッフは出勤前に全身体温測定し、健康管理表に記入して体調管理
- ・健診入口のドアを開放

- ・受付時はお一人様ずつ対応、エレベーターホールに受付待ち用の椅子を設置
- ・足形誘導シールを使用し受け付け時の距離を保つ
- ・受付飛沫対策ビニールを設置
- ・来院時全員にアルコール手指消毒
- ・スタッフ及び受診者の皆様も全員マスク使用
- ・常時窓を開けて換気
- ・更衣室の入場制限
- ・更衣室から出る際にアルコール手指消毒
- ・更衣室ロッカーは使用者毎にスタッフが消毒
- ・更衣室出入口パーテーションをスタッフが定期的に消毒
- ・待合室は個別の専用席を距離をおいて向かい合わないよう設置
- ・椅子は指定席として他の受診者が使わないようにする
- ・待合室内の人数を席数分に限定
- ・椅子は受診者毎にスタッフがアルコール消毒
- ・待合室の雑誌を撤去。Wi-Fi環境の整備
- ・トイレ使用後健診エリアにお戻りになる際にアルコール手指消毒
- ・検査毎に担当者が案内して受診者同士との接触回避
- ・接触可能性部位（更衣室、トイレ、ドアノブ、受付カウンター等）を定期的にアルコール消毒
- ・カーテンは職員が開けて設備への接触回避
- ・ベッドのシーツを撤去し、消毒しやすいように変更
- ・使用ごとの検査機器アルコール消毒
- ・受診者毎にスタッフはアルコール手指消毒
- ・受診者に密接する検査、診察時には、必要時スタッフがゴーグル、手袋等を使用
- ・待合室にアルコールを設置し受診者は希望時適宜手指消毒
- ・内視鏡学会ガイドラインに基づき内視鏡室の感染対策を徹底
- ・健診終了後受付にてアルコール消毒